

希望ある、やさしい長寿社会を

理事長 木村重成

「私たちの知恵と経験を活かし

希望ある、やさしい長寿社会にするため

全国津々浦々で奮闘しましょう」

これが、先ごろ（11/12,13）開かれた日本高齢者大会in東京の大会決議です。私も2日間にわたって開かれたこの大会に参加してきました。大会決議は述べています。「日本は、いま世界一の長寿社会を実現し、9万人を超える方が100歳を迎えています。みなさんの長寿を、心からの拍手で祝福しあおうではありませんか。しかし、岸田政権は、社会保障を削って大軍拡の財源に回すことをもくろみ、憲法の平和的生存権、基本的人権を守る国の責任も投げ捨てようとしています。国民の人権保障を確立することこそ国が優先的に取り組むべきことです。…政府は、誤った「高齢化危機論」、「社会の負担論」から抜け出せず、一部の高齢者排除論や差別などを助長しています。その結果、世界第二位の高齢者の貧困、ジェンダー不平等、女性の低年金などを解決できない人権後進国となっています。…安心して子どもを産み育てられる社会、働く人の権利が守られる社会、ジェンダー平等の社会、戦争準備より平和な社会、老いることを心配させない社会、一人ぼっちをつくらぬ社会など、誰もが住みよい社会にかえるため、私たちには、やらねばならないことが沢山あります。高齢者は、過去と現在そして未来を結ぶ仲介者であり、その知恵と経験は、社会にとってかけがえのない宝です。多くの人々と連帯し、希望と輝きに満ちた真の長寿社会を創造するため、全国津々浦々で奮闘することを誓い合しましょう。」

みなさん、この日本高齢者大会は今年で第36回を重ねました。特に昨年は日本高齢者人権宣言を採択しました。人権保障の意味から説き起こし、高齢者の尊厳、独立、参加、ケア、自己実現の基本原則、高齢者に保障される人権を具体的に規定しています（一度、みんなで学習する機会をもちたいものです）。希望ある、やさしい長寿社会にするために、高齢者の私たちも生きてある限り、知恵と経験をそれぞれの条件に応じて出し合ひましょう。誰かが言っていました、一人はみんなのために、みんなは一人のために、と。そんな社会にするためにまだまだ私たちにできることは必ずあります。

やまびこ・第2こだまデイサービスでは スタッフを募集しています！

あなたも一緒に働きますか？

【第2こだまデイ/ホームヘルプスタッフ】

☆お散歩ボランティア ・週1日以上 TEL042-343-0456 担当 菅原

【小規模多機能やまびこスタッフ】

☆送迎ドライバー ・時給1120円+α

やまびこ TEL042-349-3655 担当 高嶺

小規模多機能サービス/デイサービス/ホームヘルプ/移動サービス/介護支援センター

第2こだま通信

113号

2023年
12月

小規模多機能サービス やまびこ
小平市津田町3-27-7
TEL 042-349-3655
FAX 042-349-3656

第2こだまデイサービス
小平市津田町1-12-8
TEL 042-343-0456
FAX 042-313-6605



《発行》特定非営利活動法人地域福祉ネットワーク 第2こだま
ホームページ <http://kodama2.org>

第16回ほのぼのバザーを終えて



4年ぶりの開催となったほのぼのバザー。新型コロナウイルス感染症が5類に移行となりましたが、その脅威は未だに拭えることがなく、私自身も初の実行委員長を務めさせていただくということもあり、数多く不安を抱える中での開催となりました。しかしながら当日は早朝に雨が降ったものの日中は快晴となり、最高のバザー日和となりました。人の出入りも予想以上にあり、地域にお住いの大人や子どもたち、以前こだまで働き、ご尽力

された諸先輩方の来場もあり、盛況に開催することができました。また、前日準備と当日参加して下さったこだま、やまびこスタッフ皆様のおかげで今回のバザーを事故なく無事に終えることができたと思っています。

久しぶりの開催で、準備も本番も手探り状態でした。検討課題も沢山ありました。今回至らなかった部分は、改善して次のバザーをより良くしていきたいと思えます。皆様本当にお疲れ様でした！！バザー収益は66,115円でした。この収益は事業の運営、活動費として利用していく予定です。

第16回ほのぼのバザー
実行委員長 木村広生



介護の事なら第2こだまにご相談下さい

❀ 津田塾大学学園祭 ❀



やまびこは去る10月21日(土)散歩時間を使って、天気はくもりでありましたが、この酷暑の中では却って好都合の日差しでありました。4年ぶりに津田塾大学の学園祭へ。利用者さん11名、スタッフ7名で見学に参りました。普段とは違う

道を歩くことは気分転換にもなりました。アクセサリーやキッチンカー、各種の出店の並ぶ中、講堂前の中庭で学生さんの生バンド演奏があると聞き、各々いい場所に陣取って開演を待ちます。音合わせに時間がかかり、なかなか始まりません。シビレを切らした利用者さんの男性から「早くしろよ！元気だせ！」の掛け声にチラツとこちらを向く学生さん。それでも、音が合わないのか、演奏とはいきません。さて、待つこと20分余り、遂にギターや電子ピアノで開幕です。ノリノリで手拍子の参加者に、曲に合わせて手を振る人、その音響にあっけにとられた表情で見つめる人とその反応は人さまざま。



お昼までの短い時間でしたが、楽しませて頂きました。帰りにはお店に並ぶ品物を見ながら「これじゃお財布持ってきた方が良かったね。」などと話しながら再び門をくぐります。丁度その日誕生会のあった人には、良い記念となりました。最後に「音楽のことはよくわからないけど、若い人が楽しそうにしているのは、いいわね。」はみんなの心のどこかにあったでしょう。来年も再び皆でここに来ることができる平和を祈りながら、帰路につきました。



【❀ 避難訓練をしました ❀】



今年は避難訓練を10月16日(月)～21日(土)の期間で実施しました。毎年恒例になってきました。天候にも恵まれて1週間を通して行いました。避難訓練は利用者さんもスタッフも万が一の時に慌てないために何が起きても平常心でいられるように行っ

ています。お散歩に行く前、出かける支度をして、着席した状態から始めました。まずは「地震だー！」とスタッフが叫ぶところから始まります。「背もたれのクッションを外して頭に被ってくださいーい！」とスタッフが声をかけます。「イスからクッション取れないわよー」「スタッフは手伝ってあげてー」「本当の地震だったらそのまま被って外に出ますが、今日は訓練なので置いていきます」「慌てず騒がずゆっくり急いで外に出ましょう」「いつもの出入口はこちらですよ」「非常口はこちらですよ」と声をかけながら避難しました。利用者さんもスタッフも初めての方がいましたが、みなさん落ち着いて避難することができました。平均避難時間は3分ちょっとでした。来年はよりスムーズに素早く避難できるように改善していきます。利用者さんは、いつものお散歩に出かける時よりも緊張感をもって参加してくださいました。どこか「訓練だから」という空気が流れていたことは否めません。それぞれに危機意識をもって参加する事が大事なのだと感じました。その点、大先輩の方々はしっかりと緊張感を持って慌てず騒がずゆっくり急いで避難誘導に従って頂きました。

「これ取れるのね」「知らなかったね」と背もたれのクッションが防災頭巾になることも体験して頂きました。東日本大震災を経験された方もたくさんいらっしゃいます。もう二度とあのようなことが起きないことを祈ります。突然発生する災害も安全に避難できるようにしていきます。

